

映画館のアトラクションの 舞踊に関する一考察 I —浅草レビュー期において—

杉山千鶴

I. 研究目的及び方法

1920年代の浅草では大衆文化の中でも映画（活動写真）が隆盛していた。映画館では1928年頃から、実演・寸劇等の演劇、レビュー・ボードビル等の軽演劇、奏楽・独唱等の音楽、舞踊等のアトラクションが上演された¹⁾。この映画館のアトラクションは、上演内容と出演者の2点から、1920年代の軽演劇の変遷—浅草オペラから浅草レビューへの過程に存在したとされる²⁾。

本研究は、この映画館のアトラクションに関し軽演劇における意義と上演された舞踊の特性を見出そうとするものである。今回は特に浅草レビューの始まった1929年7月以降に着眼した。

方法として、1929年7月1日～1932年12月31日³⁾発行の都新聞東京版の遊覧案内欄と上映広告のうち、浅草の映画館で上演された、舞踊或は舞踊を含むと思われる演目を対象に考察を行った。

II. 結果及び考察

(1)映画館のアトラクションの概観

都新聞によれば、アトラクションの上演館数は1929年9館、1930年17館、1931年14館、1932年10館であった。但し1932年は10月以降は4館に激減しており、この年から衰退を始めている。

その内容は映画上映の合間に頭を休める様、思考や理解を不要とする、聴覚本位の音楽、視覚本位の舞踊、ストーリー性を重視しない軽演劇が大半を占めている。しかし1929年5月洋画トーキー1931年8月邦画トーキーが公開され、無声映画時代の終りとトーキー時代への突入を迎えると、オーケストラやジャズバンドを抱えている必要がなくなり、また短編の喜劇映画やニュース映画が上映されるようになり、衰退したと考えられる。

(2)映画館のアトラクションの舞踊

①舞踊という演目

石井漢、高田せい子等の芸術舞踊家の舞踊団公演、単独の出演、独唱等と合同の上演があった。また浅草オペラの残党でエロを売り物⁴⁾に舞踊団を率いて公演を行う者もいた。男性は舞踊家として評価されても、女性は“エロ”や“イット”の形容⁵⁾が多く、観客である浅草の大衆が、女性ダンサーにエロチシズムを期待したと考えられる。

②舞踊を含む演目

レビュー、ボードビル等の軽演劇が相当する。レビュー団の単独公演もあった。やはり女性ダン

サーにはエロの形容がつき、またエロや裸をタイトルにした作品があった⁶⁾。

1929年7月カジノ・フォーリーの旗揚げを以て浅草レビューが始まったが、この当時は映画館の余興の単独興行⁷⁾という認識しかなく、従って映画館のアトラクションは浅草レビュー以前に、浅草の大衆にレビューを紹介したと言える。

III. 結論

(1)軽演劇における意義

映画館のアトラクションは、浅草レビュー以前に、レビューを1つの興行形態として浅草の大衆に認識させた。浅草レビューのスピーディな場面展開が、レビュー本来の特性ではあるが、映画館のアトラクションが時間の制約を受けながらの上演だったことに該当すると考えれば、映画館のアトラクションのレビューの形態は浅草レビューに引き継がれたと言えるのである。

(2)上演された舞踊の特性

浅草の大衆は女性ダンサーに対しエロチシズムを期待し、映画館側も上映広告に“エロ”という語を踊らせ、観客動員を図った。浅草レビューでは女性ダンサーの脚部の大群をその対象としたが映画館のアトラクションでは、上映広告に女性ダンサーの脚部に触れたものがあるので、その片鱗が認められる。芸術性の高い舞踊も上演されたが単なる視覚本位の頭休めの1つに過ぎず、浅草の大衆や、彼らが享受する大衆文化には芸術性は不要だったのである。

1) 杉山「浅草オペラから浅草レビューへの変遷—1920年代の浅草の軽演劇の流れと変遷過程に存在するもの—」お茶の水女子大学人文科学紀要 第43巻 1990年 p.196

2) 杉山 上掲論文1) p.200

3) 浅草オペラから浅草レビューへの変遷に関し、該当する大正中期～昭和初期の一貫した把握のために1920年代というコンセプトを用い、また浅草レビューが1933年4月に旗揚げした笑の王国以後喜劇色を強めたことから、1920年代をそれ以前の1932年までと考えた。

4) 河合澄子は“物凄いいエロ”，白川澄子は“エロ洪水の尖端を切る”という売り文句だった。

5) 例えば福井茂は“軽妙洒脱な舞踊”，舞踊団団員は“エロ百パーセントの脚どり”と謳われた（都新聞1930年7月3日電気館上映広告）。

6) 1930年6月には東京館で「裸形大行進」と題したレビューが上演された。

7) 島村竜三「レビューを生んだ人々」改造 1933年12月号 p.103

※ 本研究は、1996年度早稲田大学特定課題研究助成費を受けて行われているものである。